

## トドマツノハダニ

春から秋にかけて針葉樹やナラなどに寄生する。針葉樹では枯れ葉と緑の葉が混ざるのが被害の特徴。広葉樹では主脈沿いにスプレー状に黄色から茶色に変わる。

ルーペで観察すると微細な糸，点状の黒い糞，ごく微小な黄色っぽいダニがみられる。ダニは最大長約0.4mm。

しばしば多発する。針葉樹の苗木は被害により枯れることがある。



1. 被害。2000/7/12, 佐呂間町, アカエゾマツ。 2. 1の拡大, 矢印の先がハダニ

【学名】 *Oligonychus ununguis*

【分類】 ダニ亜綱 (Acari) , ケダニ目 (Prostigmata) , ハダニ科 (Tetranychidae)

【分布】 日本；朝鮮半島, 中国, ヨーロッパ, 北米, ブラジル。

### 【生態】

宿主：トドマツ, モミ, アカエゾマツ, トウヒ, マツ, ヒノキ, カシワ, ナラ, クリ。

卵で越冬。5月に孵化し，葉から樹液を吸収する。北海道では春から秋の間に約6世代をくりかえすといわれている。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
卵 (越冬)	+++	+++	..			..	+++	+++	+++
幼体, 生体 (加害)			..■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■

### 【被害と防除】

春から夏にかけて高温で雨量の少ないときに多発しやすい。

苗木では殺ダニ剤で防除する。薬剤は取り扱い説明書に従って使用すること。

街路樹のアカエゾマツ低木でときどき多発する。木が衰弱したり枯れた例は知られていないため，防除は普通必要とされない。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .
1993. 江原昭三. 日本原色植物ダニ図鑑. 298 pp. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 生態, 天敵, カラー写真)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

トドマツノハダニ hadani/todohada/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/5.

1higai.JPG, 1hadani, JPG

「写真」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.